

授業科目	公衆衛生看護方法論 I				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保健師		ナンバリング	NU21702J		
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2 DP4-2			
担当教員	布花原 明子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>地域の健康課題を解決するための公衆衛生看護の方法について、個人/家族・集団・組織を対象とした支援方法と技術を解説する。地域の最小単位としての個人/家族、小集団(グループ)、組織を連動して継続的に支援する過程や支援方法の組み合わせについても解説する。実務家教員として、保健師の経験を活かして、現場での支援方法の工夫など、実践例を取り上げながら授業を進める。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1.保健師に求められる保健指導と必要な技術を説明できる(DP1-2,DP2-1)。</p> <p>2.個人/家族を対象とした支援の特徴と方法を説明できる(DP1-2,DP2-1)。</p> <p>3.小集団(グループ)を対象とした支援の特徴と方法説明できる(DP1-2,DP2-1,DP4-2)。</p> <p>4.地域の住民組織を対象とした支援の特徴と方法及び技術を説明できる(DP1-2,DP2-1)。</p> <p>5.グループワークや協同学習を通して、保健師としてチームで協力連携する態度を表すことができる(DP3-2)。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	30	20	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	20		10				30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	30		20	5			55	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)				10			10	
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)				5			5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
公衆衛生看護技術の基本的な理論・知識をよく理解し、現実場面の多様な状況にある人々を対象し、支援方法と技術を正確かつ具体的に説明できる。グループ内で、自らの意見をわかりやすく伝え、複数の意見を聴き、意見を調整できる。				公衆衛生看護技術の基本的な理論・知識を修得し、それを説明することができる。個・家族、グループ・組織を対象とした支援方法と技術を説明できる。自身の考えを伝え、他者の意見を聴いてグループで協力できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:保健指導とは(布花原明子) 公衆衛生看護の概念をふまえ、保健師に求められる保健指導を解説する。また、保健指導に必要な技術についてデモを交えながら解説する。	講義 演習(GW)	復習:当該部分の復習	45
2	テーマ:健康相談(布花原明子) 相談者と信頼関係を築き、相談者が主体性に健康課題を解決できるよう支援する方法と技術についてシュミレーションを交えながら解説する。また、他事業と連動して継続支援することや、多職種連携による支援について解説する。	講義 演習(シュミレーション)	予習:生活者としての個人の理解と支援技法」を読み、ノートに整理する。 復習:当該部分の復習	60
3	テーマ:健康診査(布花原明子) 住民や勤労者の健康管理について、健康診査の目的と方法及び保健指導を解説する。また、保健事業として健康診査の企画・実施・評価の過程を解説する。	講義	復習:1. 当該部分の復習 2. 特定健康診査・特定保健指導の自己学習	60
4	テーマ:健康診査の事後指導(布花原明子) 特定健康診査後の特定保健指導について個人ワークを交えながら解説する。	講義 個人ワーク	復習:事例の保健指導作成	90
5	テーマ:個別保健指導(布花原明子) 事例を用いて、行動変容のための個別保健指導についてグループワークを交えながら解説する。	講義 演習(GW)	予習:「健康教育論」行動変容モデルの復習 復習:課題レポート作成(詳細は授業時に提示する)	90
6	テーマ:家庭訪問1.(布花原明子) 家庭訪問の目的、法的根拠、対象把握の方法と優先順位、及び家庭訪問のプロセスを解説する。	講義	復習:当該部分の復習	45
7	テーマ:家庭訪問2.(布花原明子) 家庭訪問の基本的な流れと継続支援を解説する。また、家庭訪問における受け入れ拒否への対応や守秘義務について、グループワークを交えながら解説する。	講義 演習(GW)	復習:テキスト「家庭訪問の実際」を読み、本日の授業内容の理解を深める。	60
8	テーマ:家庭訪問と支援ネットワークづくり(布花原明子) 多職種連携による家庭訪問の事例を通して、保健師の役割を解説する。支援のあり方や保健師の役割についてグループワークを交えながら解説する。	講義 演習(GW)	復習:課題レポート作成 「家庭訪問における保健師の支援と役割」(詳細は授業時に提示する)	120
9	テーマ:健康教育のPDCA サイクル(布花原明子) 地域の健康課題を解決するための健康教育のPDCA サイクルについて解説する。	講義	復習:当該部分の復習	45
10	テーマ:健康教育の企画(布花原明子) 特定集団を対象として健康教育を企画する。グループで協力連携し企画案を作成し、教員はグループをファシリテートし学習支援の役割をとる。	演習(GW)	予習:事例に関して、集団を対象とした健康教育の基礎的知識と、科学的根拠に基づいた保健指導の情報を収集する。各自、健康教育の目標を設定する。 復習:次回、企画案プレゼンテーション準備	120
11	テーマ:健康教育企画案のプレゼンテーション(布花原明子) 健康教育の企画案をプレゼンテーションし、各々の企画案に対する意見交換を行う。教員は、評価の視点の解説、進行及び総評を行う。	講義 演習(GW)	復習 ①グループで作成した健康教育企画案について、他者評価を活かして個人で修正する。②振り返りシートを記入する	120
12	テーマ:健康教育の評価(布花原明子) 健康教育の評価の構成と内容について解説する。	講義	復習:当該部分の復習	45

13	テーマ:グループ支援(布花原明子) 小集団(グループ)が主体性を高めて健康課題を解決するための支援方法についてデモを交えながら解説する。	講義 演習(GW)	予習:テキスト「グループ・組織の理解と支援技法」を読み、ノートに整理する。	45
14	テーマ:住民組織活動(布花原明子) 地域の住民組織の特徴と保健師の支援役割を解説する。また、社会変容をめざす地域組織活動の発展過程と支援技術について解説する。	講義 個人ワーク	復習:当該部分の復習	45
15	テーマ:住民組織活動とエンパワメント(布花原明子) 住民組織による健康な地域づくり活動事例を通して、住民主体の健康づくり活動を展開する方法を解説する。コミュニティエンパワメントのプロセスと支援方法について協同学習を交えて創り、教員はグループ及び全体のファシリテート役割をとる。	講義 演習(協同学習)	予習:テキスト「住民の自立支援と地域組織活動の実際」について、特に活動プロセスの1. 発展段階、2. エンパワメントを意識して読み、次回に備える。	45
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	本講義は、1年次「公衆衛生看護学概論」、同時期に開講する「健康教育論」と関連する科目です。そのため、関連科目に関してファイルやテキスト及び配布資料などから、本科目に関連する知識を復習して授業に臨んでください。また、ALを取り入れて能動的な授業参加を促したいと思います。
テキスト	・中村裕美子他著:標準保健師講座2 公衆衛生看護技術, 医学書院.
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師ジャーナル 医学書院 ・上野昌江他著:公衆衛生看護学第2版, 中央法規. ・宮崎美砂子:最新公衆衛生看護学総論 日本看護協会出版会 ・村島幸代:最新保健学講座2 公衆衛生看護支援技術 メディカルフレンド社 ・麻原きよみ:公衆衛生看護学テキスト 公衆衛生看護技術 医歯薬出版株式会社

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	あなたは保健師が仕事をしている姿をイメージできますか。授業では、保健師が行う個別・集団・組織を対象とした支援の方法を解説するなかで、実務経験もお話していきたいと思います。また、興味のある方は、日本看護協会出版会のHPで、『キラリ！看護の仕事』で保健師の一日を動画で紹介されていますので眺めてみてください。さらに、保健師の仕事の実際を知って職業選択できるためのキャリア支援として、毎年、卒業生保健師との交流会を開催していますので、保健師の選択課程を考えている方はぜひ参加してみましょう。
達成度評価に関するコメント	試験及びレポートの内容については、授業の中で指示をする。